

コンパス薬局 スキルアップ勉強会

2011. 7. 14 石橋

第1回 『アルツハイマー型認知症治療薬 メマリー錠』

第一三共株式会社 塚田純也さん

出席者：眞家伸一先生（まいえ内科）

小林、山田、野口、佐藤、塚田、石橋、阿部、西山、平野さん

アルツハイマー型認知症は、大脳皮質などの神経細胞が死滅して、記憶機能や認知機能が顕著に低下する疾患です。今回、アルツハイマー型認知症の新しい治療薬として2011年3月に薬価収載された「メマリー」について勉強会を行いました。

【効能・効果】

- ・ 中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

【用法・用量】

- ・ 通常、成人はメマンチン塩酸塩として1日1回5mgから開始し、1週間に5mgずつ増量し、維持量として1日1回20mgを経口投与する。

【特徴】

- ・ 過剰なグルタミン酸によるNMDA受容体の活性化を抑制することにより、神経細胞保護作用及び記憶・学習機能障害抑制作用を有する。
- ・ 認知機能障害の進行を抑制し、言語、注意、実行、視空間能力などの悪化の進行を抑制する。
- ・ 攻撃性、行動障害などの行動・心理症状の進行を抑制する。
- ・ 薬物代謝酵素P450による代謝の影響を受けにくい。

【副作用】

- ・ 主な副作用は浮動性めまい（4.7%）があるが、特に飲み始めに多く見られる。
- ・ 1日1回5mgから服用を始め、段階的に増量することにより副作用はほとんど見られないといわれている。

【その他】

- ・ 粉砕・一包化可能（若干苦味あり）
- ・ 腎排泄のため、腎機能障害のある患者には慎重投与。維持量は1日1回10mgとすること。
- ・ 高血圧症はアルツハイマー型認知症の発症に有意な関連あるとのデータあり。（正常血圧の4.6倍）

【考察】

- ・ 社会の高齢化が進行し、認知症が増加しつつあります。社会的な支援も必要になり、介護者の負担を軽減するためにも早期から改善し、機能の維持・病状の悪化を防ぐことも重要になってきます。
- ・ メマリーの最大の特徴は重い認知症に向くということです。また、認知機能を改善するだけでなく、怒りっぽい、興奮、攻撃的、徘徊といった周辺症状の軽減効果も認められています。
- ・ 世界で唯一のグルタミン酸NMDA受容体拮抗薬。従来からの認知症治療薬アリセプト（ドネペジル）とは作用機序が違います。アリセプトに追加・併用することで、プラス効果が期待できそうです。